新京日日新聞　夕刊　九月二十四日
發行所　新京日日新聞社

對支重大會議開く

海軍省、部聯合 最後的態度協議

惡質極まる抗日行爲の頻發 自衛手段の外なし

【東京國通】上海吳淞路に於る我陸戰隊員狙擊事件に就ては海軍當局は極度に緊張し、各地の暴虐事件に特別陸戰隊を派遣するの已むなきに立至つた折も折、南京政府の膝下たる上海に於て今までの事件と異つて我が軍隊を目標とした不祥事件が續發したるに對しては海軍當局では極めて重大視し

如何なる手段をとつても斯かる惡質極まる抗日行爲を絶滅せざれば日本人は一瞬たりとも支那に安住する事は出來ない、その爲に生ずる責任は一切支那側にあり

として極めて重大なる決意を固めつゝある斯くて二十四日午前九時から行はれる海軍省、部首腦部の聯合協議會に於ては前夜の打合せ方針を基礎として海軍の最後的態度と緊急對策を決定する筈であるが、海軍としては最早事玆に至つては最後的決意を爲するの外ないものと見られるに至つた、仍つて首腦部會議決定の上は伏見軍令部總長宮殿下の御指揮を仰ぎ海軍として愈よ最後的自衛手段に訴へるものと見られる

海軍側に呼應 外務首腦部會議

外交方針の强化に拍車加ふ

【東京國通】上海陸戰隊員狙擊事件に關する上海總領事館からの公報は廿三日深更外務省にも到着したので、同省としても其成行きを重大視し廿四日午前首腦部會議を開き臨機措置を考究する事となつたが今回の事件は

一、明白なる皇軍侮辱の暴行であり對日挑戰の現行とみられる

一、最近成都・北海・汕頭・漢口に於て頻發した排日事件は一聯の計畫的暴擧なりと斷ぜられる

以上の如く支那各地に頻發する不祥事件は停止するところを知らない有樣だから我國としては先づ在支邦人の生命財産の保護が何よりも緊急事であり、從つて南京政府との正式交渉も今次事件を契機として重大轉換を餘儀なくされるに至るものと見られる、仍つて廿四日海軍首腦部會議の結果を俟つて海軍と共同歩調をとり緊密なる連絡を保ちつゝ斷乎たる外交手段に訴へる事になる模樣である

上海我陸戰隊司令部

"支那側の排日取締りに信を置けぬ"

＝大使館當局聲明＝

【上海廿三日發國通至急報】大使館當局は廿四日午前零時半我水兵狙擊事件に關し左の如く聲明を發した

度重なる不祥事件に次で又もや帝國海軍の水兵に對し慘事を惹起したことに就ては痛憤云ふところを知らず

此際吾人は最早や排日取締措置に對しては信を置けぬ此際吾々に殘された唯一の手段は遺憾乍ら在住十餘萬の居留民の生命財産保護のため適當なる自衛手段を採る外なき事態と認める

川越大使語る

日支交渉の目鼻がつかぬ今日再び上海事件の勃發せるは交渉の前途に重大なる暗影を齎らしたもので、斯かる排日暴行は一に國民政府の責任で、我が排日取締り要求もこれによつて更に强硬化されるは必然だ、然るに國民政府の態度未だ誠意の見るべきものなく今國民政府が態度を一變せぬ限り同樣の事件續發、事態は最惡の危機に直面するものと思惟す、國民政府がこの重大性を認識せず徒らに交渉を遲延するに於ては南京引揚げ斷行も已むなきに至らん

近藤陸戰隊司令官 非常警戒を布告

【上海廿四日發國通】近藤陸戰隊司令官は今曉三時四十分左の如き非常警戒布告を發表した

大日本帝國海軍特別陸戰隊非常警戒布告—本陸戰隊今次の行動は自衛權の發動にしてその目的は、專ら在留帝國臣民の生命財産を保護するにあり、苟くも我が官民を敵視し治安を攪亂するものに對しては寸毫と雖も假借するところなし、賢明なる全市民衆は須らく本隊の眞意を明解し盲動する事なく安堵、各々その正業に從事せん事を希望す

昭和十一年九月廿四日

大日本帝國上海海軍特別陸戰隊司令官　近藤英次郎

第二次滿洲里會議 十月一日に變更

外蒙側代表到着遲延の爲

第二次滿洲里會議は二十五日より開催される豫定であつたが外蒙側代表滿洲里到着遲延のため來る十月一日から開催されることゝなつた

現場調査終る

【上海廿三日發國通至急報】廿三日午後十一時半現場に於て工部局側より田嶋副總監、イワノフ警務科長、ロバートソン特高科長、日本側總領事館より奥村司法主任、陸戰隊側田多野參謀、沖野海軍武官、大使館吉岡情報部長等立會の下に川島書記官の通譯で危難を免れた幸池上等兵及び犯人を取押へた日本人から事件發生當時の模樣を詳細聽取、更に今後の搜查警備方針につき熟議した、田嶋工部局警察副總監は現場で語る

租界しかも邦人街目拔きの通りでかゝる不敵なる行爲を敢てするとは言語同斷、此上は草の根を分けても犯人一味の速かなる逮捕に全力を注ぐ覺悟だ

犯行に使用せる拳銃等發見

【上海廿三日發國通至急報】現場附近で犯行に使用された拳銃藥夾七發が發見された

上海郷軍 陸戰隊司令官の麾下に編入

【上海廿三日發國通至急報】近藤陸戰隊司令官は廿三日午後十一時廿分上海在郷軍人は全部陸戰隊司令官の麾下に編入の旨發表した

犯人の素性判明 江北泰州の男

【上海廿四日發國通至急報】兇行後間もなく逮捕された狙擊犯人は張榮和（二一）で現住所上海狄思威路東興里、生れは江北泰州と判明、目下陸戰隊本部で犯行の動機、連累者背後關係等につき嚴重審問追求中である

今や實行あるのみ 我海軍斷乎決意

最早百の交渉も無駄

【上海廿四日發國通】我が海軍當局では今回の水兵射殺事件に關し斷乎たる決意の下に鐵の如き沈默をまもつて居り最早百の交渉も無駄で、今や實行あるのみと嵐の前の如き靜けさを保つて居る

吉岡巡査暗殺犯 正體判明

【上海廿四日發國通至急報】漢口より當地に達した確報によれば我が漢口總領事館は吉岡巡査暗殺犯人は漢口日本租界より三哩下流の劉家廟に常住する兪濟時の第五十八師特務兵の仕業と信ぜられる確證を握つた模樣である、該五十八師の大部分は浙江省、一部は山東省出身者よりなり、蔣介石氏の直系部隊で師長兪濟時は蔣介石氏の姉の子供に當り、幹部は殆ど黄埔及び中央軍官學校出身者で固められ、抗日意識の極めて熾烈な軍隊である

南京政府 狼狽度を失ふ

【南京廿四日發國通】上海事件發生の報道に外交部は驚愕狼狽措くところを知らず廿三日夜外交大樓で催された新任英國大使の晩餐會を終るや張群外交部長は直ちに外交部首腦部を召集協議の結果、吳鐵城市長に至急内容報告方を發令したが、支那側では危機の接迫、痛感今更の如く周章狼狽度を失つてゐる

北海事件日本側調査隊 無事歸艦

【上海廿四日發國通至急報】廿三日午後第三艦隊に入つた北海現地からの公電によれば我が陸、海、外三省の調査隊は豫定の通り廿三日午前九時北海に上陸調査を開始した、一行は外務省派遣の戸根木書記生、松浦廣東總領事館警察署長、海軍側の須賀武官、陸軍側の岡田武官等一行八名である、支那側調査員三名も同時刻に上陸、調査は午後五時一應打切られ、我が調査隊は軍艦〇〇に歸艦した、尙北海事件調査に際し我が方は終始獨自の立場をとり事件の眞相、事前の情勢、善後處置等について縱横に究明することゝなつた

特別陸戰隊 本日朝上海着

直ちに警備に就く

【上海廿四日發國通】〇〇〇を出發上海派遣を命ぜられた特別陸戰隊〇〇〇名は特務艦〇〇に搭乘、二十四日午前六時揚子江の朝靄を衝いて入港大阪商船碼頭に繋留され、海軍旗を先頭にトラックに分乘陸戰隊本部に入り近藤司令官の檢閲を受くるや時を移さず直ちに警備に就いた

人事往來

▲山岸德次郎氏（商業）二十三日午前太陽ホテルへ
▲佐藤諦一氏（會社員）同
▲楠山武夫氏（商店員）同
▲竹林義一氏（大朝ハイラル支社員）同
▲吉田永次氏（警察官吏）同午後北滿旅館へ
▲河上春亮氏（同）同
▲川村三夫氏（滿洲國官吏）同
▲今田益一氏（金融會社員）同大和新館へ
▲山中惣三郎氏（同）同
▲村瀨喜藏氏（貿易商）同大丸新館
▲樋口久男氏（[illegible]社員）同
▲中尾八彌氏（會社員）同
▲竹田惣治氏（滿鐵社員）同
▲高野勇氏（國際運輸課長）同午前ヤマトホテルへ
▲福島精明氏（商業）同
▲神谷昌雄氏（會社員）同
▲八木聞一氏（滿鐵社員）同
▲保田宗次郎氏（日産取締役）同
▲山崎武二氏（住友電線）同
▲齋藤靖彥氏（日産社員）同
▲鮎川義介氏（同社長）同
▲草河節夫氏（會社員）同
▲中島道文氏（同）同
▲北部正雄氏（同）同
▲竹本節藏氏（中央銀行員）同
▲西川浩氏（官吏）同
▲須手大佐　同富士屋旅館へ
▲人見末雄氏　同
▲小寺晴雄氏　同
▲森田美三氏（鑛業）同國際ホテル
▲工藤今朝重氏（農業）同午後同
▲山下清秀氏（鑛業）同
▲冑田武重氏（軍屬）同
▲三倉誠吉氏（貿易商）同
▲安原金治部氏（會社員）同
▲高野茂義氏（滿鐵社員）同國都ホテルへ
▲佐藤德四郎氏（商業）同
▲瀧作太郎氏（商業）同京都旅館へ
▲津金豐治氏（外務省巡査部長）同
▲小川嘉慶氏（同）同
▲佐竹權六氏（外務省巡査）同
▲若林俊一氏（土木業）同都ホテルへ
▲高山一三氏（滿洲國官吏）同向陽ホテルへ
▲土井伊右衛門氏（會社員）同
▲尾崎樟雄氏（請負業）同
▲辻川大尉　同
▲内池孝一郎氏（歩兵少尉）同午前旭ホテルへ
▲江崎三郎氏（軍人）同
▲靑木周作氏（滿洲酒造社長）同
▲竹添利雄氏（酒商）同
▲瀧山義雄氏（航空社員）同
▲吉野弘文氏（歩兵少佐）同
▲横山常夫氏（軍人）同大丸新館
▲高橋仙松氏（農業）同

その日〻

□ 侮日、日に募り、上海で我が水兵三名狙擊さる、最早海軍の勘忍袋の緒は切れた

□ 豈海軍のみならんや、帝國は擧げて對支膺懲の師を起すに軍民一致たり

□ 南京政府ふるへあがる、だから言はぬことはない、こうなる前に眞の排日取締りを

□ 滿洲里會議、またも外蒙代表の到着遲延で延期、この會議最初から行違ひ勝ち

□ 秋氣北滿の山野に滿つ、二十七日の日曜淨月潭貯水地に逝く秋を納めんかな

號外發行

二十三日上海で勃發した我水兵殺傷事件に關し本社は二十四日朝號外を以て速報した

乳房ある悲み（百五十三）

中西伊之助作　武久□畫

靑春の絞首臺（五）

一宮との約束。——その約束は、いへばプラトニック・ラブ——つまり、淸い美しい精神的の戀である。玉汝はそれ以上、一宮に要求することはできなかつた。まだ互に童貞である同士のことであるから。

玉汝は恐らくその淸い戀をその時は望んでゐたのだ。なぜなら彼女は自分の肉體に不安があるからそれ以上は望めなかつたのであつた。

だが、玉汝は決してそれで滿足してはゐなかつた。彼女にも豊な乳房がある、熱い血が燃えてゐる。彼女の白い肉體は、冷たい大理石ではなかつたのだ。

一宮との約束——それは、食べられない木製の美しい林檎であつた。赤ん坊の頬のやうなそのふくよかさも、赤い駒鳥の胸毛に似た美しさも、中味は蠟よりも固い木目でしかない。玉汝にとつては、それが何よりもさびしいことであつた。

もし、自分の一切を知りつくして、自分と結婚してくれる男があるならば、彼女も一切のものを拋棄して、その人の胸に懐かれたい！それが今の彼女の悩みを救はれる唯一の道であつた。

玉汝は、長い間、默つてゐたが、やつと顔を上げて兄にきくのであつた。

『では、榊原さんは、お兄さまから何もかもお話しして下すつたのですか？……』

『それは今もいつた通り、詳しく話してきかせた』

『そしたら何と仰有つて？』

『あくまでお前のためにつくさうと、わしに誓つた』

『……』

『さうだ、それでもお前はいけないのかね？わしの考へては、今後こんな機會はまたとないと思はれるがね？よくお前も考へてみることだね』

『……』

玉汝は迷はないではゐられなかつた。が、その時、彼女の胸に鋭く閃いたものがあつた。

たとひ、自分の全部を知りつくして居てくれても、もし自分の結婚後、自分の恐ろしい病氣の發作がした場合、自分はどうなるであらう？その場合、いかに自分を愛してゐる人でも、その人は自分にあくまでその愛をつづけて行つてくれるであらうか？……彼女はそのことに思ひ到ると蒼[illegible]

い肉の愛慾をすてて、淸らかな尼のやうな心持になつて、全生涯を靜かに送つた方がいゝ……その方がそのくらゐ幸福だか知れない……彼女は、さびしい心持で、またさう思つてみた。

『どうだ、まだ考へはつかないかね？……』

『……よく考へてみますわ』

齊は、彼女を見守りながらきいた。

『うむ、よく考へてみるがいゝ。こんなことは本人の心次第だからたとひ親兄弟でも强制することはできないからね』

『……』

『でも、私、修道院にでもはいりたいと思つてゐますのよ……』

玉汝は兩手を膝に組み合せて、じつと俯向いた。

『困つたことをいひ出したね……』

齊は急に暗い顔をして、再び彼女の姿を見た。

『でも、私、全くつまらないんですもの……』

秋色漲る曠野に "武神"の碑輝やく
栗崎大尉等五勇士の記念碑 きのふ除幕式行はる

昭和七年九月二十三日陶家屯西方約四キロ西尹家店附近に於て反滿抗日の有力なる騎馬匪三百三名と遭遇激戰の後これを撃退したがこの戰鬪に於て壯烈なる戰死を遂げた栗崎大尉以下五勇士の戰績記念碑除幕式並に慰靈祭及び陶家屯も匪襲事件に女性の身をもつて勇奮潮の如く押し寄せる匪賊を撃退不幸名譽の死を遂げた川添しま子女史の記念碑除幕式及び慰靈祭は二十三日秋季皇靈祭をトして盛大に擧行された、この日前日來の秋雨名殘りなく晴れて秋色原野漲る中を今日の式典に參列する布施部隊長高橋、大尉、新京聯合分會長、五十嵐少將、岩坂同副會長、武田地事所長、代理稻葉庶務係長、建設委員長三坂進氏、范家屯地事所長、川本范家屯署長神宮僧侶等の一行は十數台の荷馬車に搭乘午前八時陶家屯驛前を出發○○守備隊、滿洲國側警察官の護衛の下に泥濘車軸を沒するぬかるみをあへぎあへいで九時過ぎ現地に到着した、碑は西尹家店部落に接近した自榮畑の眞中に見上るばかりの自然石で造られ碑前には布施部隊長、范家屯署長、公主嶺在郷軍人分會長、武田地方事務所長、其他關係方面から贈られた花輪供物が所狹きまでに飾られてゐる、九時四十分開式、建設委員三坂進氏の手にて掩はれ白布を除けば雄渾なる"武神"の二字が旭光に燦として輝く"つゞいて新京神社神官の修祓情祓祝詞奏上等があり各地からの祝電披露、高橋大尉、川本署長、新京郷軍分會五十嵐岩坂正副會長、武田所長代理稻葉庶務係長、范家屯地事所長、懷德縣長等恭しく玉串を奉奠引續き慰靈祭に移り三坂委員長、布施部隊長、五十嵐少將、川本署長懷德縣長等の祭文奏上、祭主布施部隊長、遺族代表高橋大尉川合部隊長、岡軍曹其他各代表者の玉串奉奠僧侶の供養かあつて式典を終つたが當時栗崎大尉の部下として奮戰した長岡軍曹の追憶談があつた

烈婦川添夫人の記念碑除幕式
想出の地にきのふ嚴肅に執行

烈婦川添しま子女史の記念碑除幕式並に慰靈祭は二十三日午後一時半から陶家屯驛後方廣場で擧行された

式場には關東局警務部長、同司政部長代理猪苗代坂長新京郷軍五十嵐、岩塚正副會長、本溪湖署長渡邊警視、稻葉新京地方事務所長代理、范家屯派出所長、川本范家屯署長、屯駐在所畑中巡査同夫人、范家屯署員、國防婦人、范家屯國防婦人會、小學生等多數參列定刻開式の辭についで川添女史の實弟畑中巡査が記念碑の幕を除けば大場鑑次郎氏の筆になれる"烈婦殉難之碑"が燦然と輝き自づと一同頭を下げつゞいて神官の修祓淸祓祝辭奏上、川本署長、三坂委員長、關東局警務部長、同司政部長(代理猪苗代署長)五十嵐郷軍分會長、渡邊本溪湖署長等の祝詞奏上各地からの祝電披露あり各々玉串奉奠、ついで慰靈祭に移り祭主委員長各代表者玉串を奉奠僧侶の供養があつて閉式したが、事件當時范家屯署長であつた現本溪湖署長渡邊警視の切々胸を刺が如き祭文は並居る人々の袂をしぼらせた

鮎川日産社長來京

産業視察のため來滿せる日本産業會社々長鮎川義介氏は八木秘書等を帶同保田、齋藤兩取締役と共に廿三日午後五時三十分着「あじあ」で新京實業界有力者多數の出迎裡に來京直に宿舍ヤマトホテルに入つた、同氏は廿五日迄滯京、日滿各機關及び各會社を歴訪挨拶の上廿六日公主嶺並に吉林の視察を手始めとして國鐵沿線各地の視察に向ふ筈である【寫眞向つて右より二人目鮎川氏】

宵の口の日出町に 拳銃强盗現る
妻女の貴金屬を强奪逃走

二十三日午後七時十分頃日出町八丁目四番地財政部理財司銀行科勤務林泉淸氏(三二)方に覆面の小型拳銃所持の强盗が侵入し主人が不在中で留守居の妻女李氏(二七)及び女中に拳銃を擬して脅喝し李氏の嵌めてゐる純金腕輪一組、金指輪二個時價二百餘圓の品を强奪して逃走した、屆出により新京署では飛田司法主任指揮のもとに全署員の非常召集を行つて現場の臨檢、警戒にあたつたが犯人の人相不明のため捜査に困難を來し犯人逮捕にいたらなかつた

宿料不拂の 常習犯捕はる

原籍熊本縣上益城郡大島村奉天松島町三番地鮮滿交通タイムス滿洲總局記者山部吉男(二五)と稱するものは八月八日ごろ新京日出町二丁目四番地扶桑旅館で宿泊料二十一圓四十二錢不拂のまゝ逃走してゐたが二十三日午後七時ごろ太々しくもまた同旅館に知らぬ顔で泊り込んだところ店員の氣轉で新京署に連絡をとり逮捕された

貴金屬泥 入質中を捕る

さる十八日興安胡同二百四十號金井氏方に時價七百餘圓の貴金屬の盗難事件があつてかねて新京署で管內各質屋に手配してゐたところ二十三日午後七時ごろ祝町二丁目博多屋質店から「只今怪しい朝鮮人が白金の鎖四本を入質に來てゐます」と電話で連絡したので署員が急行慶尙北道生れ李三德(二五)を逮捕し取調べた結果、日本橋通り十七番地中谷時計店々舗から同日午後六時ごろ金時計用鎖シングル型四本時價二百五十圓、女物十八金ルビー寶石入メダル付金鎖一本時價五十圓、男物時計鎖一本時價十圓を窃取した他奉天でも先月十數回貴金屬專門に窃取した旨自供した

宿泊料踏倒し

日出町二丁目四番地扶桑旅館へ七月二十三日から八月十三日まで止宿した原籍東京市神田區表神保町、現住所赤峰三道街會社員永塚五郎(四六)と稱する男は宿泊料百三圓五錢不拂のまゝ逃走し今日になつても音沙汰ないので扶桑旅館から新京署に屆出た、また五月三十日から六月四日まで宿つた原籍廣島縣小拜郡、現住所奉天靑葉町小說家池田俊雄(二六)と稱する男も宿泊料二十餘圓を踏倒して逃走したので廿二日屆出でたが池田が置いてゐつたトランクには原籍長崎縣彼杵郡永野といふ戸籍謄本や畑瀨と書いた奉天の宿屋の請求書などあるところから各地で僞名して宿泊料を踏倒して渡世してゐるものらしい

輸入百貨店 あす開業

かねて注目されてゐた新京輸入組合の輸入ビルは去る二十日竣工、組合及び各府縣駐在員事務所の同ビル內への移轉を終つた、なほ地階、一階、二階の一部及び三階を借受けた新京輸入百貨店では愈よあす二十五日開業の運びとなり同日午前十一時から午後六時までビル新築と百貨店開業を披露のため輸入組合及び百貨店より各方面に案內を發した

"丸八年の勤務"
栗原氏感想を語る

正金では二十二日支配人の人事異動を行つたが、多年新京にあつて敏腕を振つた新京支店支配人栗原重康氏は本店頭取席詰に榮轉し、後任には丸之內出張所副主任大村哲太郎氏が來任することゝなつた二十三日榮轉の報を齎らして栗原氏を自宅に訪へば左の如き感想を述べた

昭和三年十一月以來まる八年になります、月給取りでこんなに永く在住したのは私ばかりで時々笑ひ物にされます、長春時代でしたら到底續くものではなかつたと思ひますが、御承知の如く事變があり、その後は全く夢の樣に過ぎ去つてしまつたわけですお陰で大過もなく勤める事が出來たのは感謝に絶へない所です私共は民間にあり事變、滿洲國建國と種々な重要問題が續いても何等お役にも立たず碌々として月給取生活を續けて來たわけですがやはり建國當初は人が居なかつたものですから、何かと相談に與つたりしました、然し何と言つても滿洲國の貨幣統一ぐらゐ順調にいつたものは無いと私共は當事者の方々の並々ならぬ努力に對して深く敬意を表する次第であります、後任の大村君もかつて開原、鐵嶺等に在勤したこともあり滿更滿洲に緣故の無い人でもありませんから安心ですどうかよろしく願ひます

雜誌受難續き

秋の娯樂雜誌の受難續き―十月號「主婦の友」の三百九十頁から四百七頁迄十八頁に亘つて記載された彫刻家河村目呂二氏夫人侯伶子さんの「滿洲國大臣の家庭生活探訪記、友邦の大臣やその夫人はどんな生活をしてゐるか?」の見出しで書かれた文面が公安紊亂の虞れあるとの廉で廿一日附で一部輸入禁止され、た翌二十二日には文藝春秋十月號の「軍に直見する」座談會も部分的の同樣行政處分をうけ、また廿四日附で十月號の「實話雜誌」が全面的に輸入禁止となり同雜誌は全部沒收されて一部も發賣されなくなつた

新京、奉天、哈市に 保稅倉庫を設置
物資運輸の圓滑化期し 十一月下旬事務開始

豫てより財政部及滿鐵に於ては日滿貿易の圓滑を計る爲、新京、奉天、ハルピンに保稅倉庫を設置し、物資運輸の迅速化、通關事務の合理化を企圖し、之が建造を急いでゐたが愈よ十一月下旬より事務を開始する運びとなつた、この結果從來厄介視され日滿運輸の癌とされた通關事務に因る物資運輸の遲延は全く解消し日滿運輸のスピード化は益々拍車を加へられる事となつた即ち新京の狀態を見るに、最近一ケ年の消費量は五、六萬噸に及び物資輸送は益々增加し頻繁の度を加へつゝあるが之が爲安東大連等各地稅關は事務の多忙を生じ、內地よりの商品輸送は往々遲延し、商取引に支障を來すこと多く、一般業者は通關事務の敏速化を久しく叫んでゐたものであるが、今回保稅倉庫の設置に依り、從來の大連安東の輸入手續は新京を納稅地とする宛地通關となり、荷受主は金融上の利便を受くるは勿論、課稅金額の査定及通關事務に疑義のある場合は、當地新京稅關當局と接涉し得る結果となり、當地一般業界の利便は多大なものがある、尙新京保稅倉庫は新京驛東站東五條通路切北平に設置され建坪四千五百平方米、總工費十七萬圓、總鐵骨の堂々たるもので、內千五百平方米を稅關事務室とし中央銀行出張所及び監視稅務監査總務の各部屋に分たれ浴場食堂をも具備し、鐵道引込線工事も既に完了し、竣工の曉は現在の中央通り分關は八十數名の關員を擁する大世帶となり倉庫內に移轉の豫定であるが、安滿分關長は一般中小商工業者の保稅倉庫利用を希望してゐる

柔道は旅順(工大) 劍道は大連道場優勝
本社後援第三回全滿武道大會

本社後援第三回全滿武道大會は廿三日午前九時四十五分より大經路兩級小學校講堂に於て擧行、先づ前回の覇者奉天道場(柔道)、奉天道場(劍道)の優勝旗返還式に次で試合を開始、柔道では國體旅順工大、個人大連道場の松本四段、劍道では國體大連道場、個人大連若葉會岩田初段が夫々優勝した、成績左の如し

△柔道(國體試合)

第一回戰勝者
電々、中銀A、新京商業B、ハルピン警務廳、撫順、奉天、新京武德A、首都警察、司法部、國際運輸、本溪湖、吉鐵、公主嶺、旅順工大、大連、新京商業A

第二回戰勝者
中銀A、ハルビン警務廳、奉天、新京武德A、國際運輸、吉鐵、旅順工大、大連

第三回戰勝者
中銀A、新京武德A、國際運輸、旅順工大

準決勝
新京武德A 一―〇 中銀A
旅順工大 一―〇 國際運輸

決勝戰
旅順工大 二―〇 新京武德
大將鮎富三段 逆 內村三段
末吉二段 分 福元四段
水本二段 分 小林三段
○佐々初段 逆 小野四段
森田初段 分 田中三段

個人優勝
一等 松本四段(大連)
二等 園川四段(大連)
三等 飾本三段(昭和製鋼)
四等 原田平三段(電業)

△劍道國體試合

第一回戰勝者
A組 錦州、范家屯、昭和製鋼、四平街
B組 奉天、新京滿鐵A、撫順中、關東軍B
C組 撫順、實業部、大興公司、若葉會
D組 大連、司法部、哈鐵

第二回戰勝者
A組 錦州、國道局、昭和製鋼、四平街
B組 旅順、工大、新京滿鐵A、新京警察、關東軍
C組 撫順、實業部、大興公司、若葉會
D組 大連、司法部、公主嶺、民政部

第三回戰勝者
A組 錦州、昭和製鋼
B組 旅順工大、新京警察
C組 撫順、若葉會
D組 大連、民政部

第四回戰勝者
錦州、旅順工大、撫順、大連

準決勝
旅順工大 三―二 錦州
大連 三―二 撫順

決勝戰
旅順工大 〇―五 大連道場
大將寺井三段 荒川四段○
迫田初段 山添四段○
鈴木初段 田口三段○
前田二段 古川三段○
橋本三段 淺野○

個人優勝
一等 岩田初段(若葉)
二等 植山三段(國際)
三等 栗島四段(撫順)
四等 竹內四段(新警)

太子堂竣工式と太子尊遷座

社團法人新京聖德會ではかねて太子堂の增改築中のところこのほど竣工、來る二十九日午前十一時から左の式次により竣工式及び聖德太子尊遷座祭典を執行することゝなつた

▲午前十一時卅分開式階上奉安殿前にて▲開會の辭▲一同禮拜▲表白文▲式文▲工事報告▲來賓祝辭▲祝電披露▲一同禮拜▲閉會の辭所用時間約卅分、祝賀宴正午より於階下會堂一、挨拶一、祝辭一、祝賀宴、以上

第五回滿洲國体育大會 新京に凱歌揚る
輝しき健鬪の跡を殘し閉幕

第五回滿洲國體育大會第二日は滿洲國人の國民性に最も適した各球技を網羅し籃球は南嶺運動場コートに、卓球は教員講習所に、網球は中銀コートに分れ、二十三日午前十時から夫々華々しく爭覇の幕を切つて落した、惠まれなかつた前日の天候に較べると此の日はカラリと晴れ渡り南嶺原頭大陸の秋氣あくまで澄み、絶好のスポーツ日和、選手の意氣益々揚れば、また觀衆も續々と押し寄せコートの周圍に人垣を築き、應援の應酬に樂土を讃へる明朗な風景を展開した、かうして各競技は終始白熱の接戰を演じつゝ午後六時夕陽も落ちて暮色全く迫る頃漸く終了し、直ちに陸上競技場で閉會式に移り、阮會長から綜合優勝新京に執政盃、特命全權大使盃、國務總理盃、籃球男子優勝吉林に外交部大臣盃、財政部大臣盃、女子優勝新京に田邊參議盃、呂民政部大臣楯、排球男子優勝哈爾濱に宇佐美盃、新京日報社盃、女子優勝新京に大每盃が夫々授與され、日滿兩國歌合唱裡に國旗降下を行ひ、こゝに二日間に亘る有意義な大會は幾多の收穫を得て無事終了した、なほ足球のみはコートの都合で二十四日に延期された、當日の成績は次の通りである

籃球

▲男子の部
第一回戰
錦州 三三(一四―一六、一九―五)二一 龍江省
新京 三四(一八―一八、一六―七)二五 濱江省
準決勝
奉天 一九(九―四、十―十)一四 錦州
決勝戰
吉林 四五(二三―七、二二―一四)二一 新京

▲女子の部
第一回戰
吉林 三六(一六―五、二〇―一〇)一五 奉天
新京 二〇(九―一〇、一一―八)一八 安東
決勝戰
奉天 二九(一七―五、一二―一〇)一五 吉林

排球

▲男子の部
第一回戰
新京 一六(九―八、七―四)一二 奉天
新京 二(二一―一〇、一一―二一、二一―一四)一 錦州省
準決勝
哈爾濱 二(二一―一八、二一―一五)〇 新京
吉林 二(二一―一三、二二―二〇)〇 龍江省
決勝戰
哈爾濱 二(二一―一五、二〇―一七)〇 吉林

▲女子の部(リーグ戰)
新京 二(二一―一四、二一―九)〇 奉天
新京 二(二一―一九、二一―一)〇 吉林
奉天 二(二一―一〇、二一―一一)〇 吉林
新京優勝

網球(リーグ戰)
吉林 三―〇 哈爾濱
新京 二―一 哈爾濱
新京 二―一 吉林
新京優勝

卓球(リーグ戰)
新京 三―〇 哈爾濱
新京 三―〇 吉林
吉林 三―〇 哈爾濱
新京優勝

大經路署長 松島氏來社

首都警察廳大經路警察署長松島安藏氏は同署巡官堀部平一郎氏の案內で二十四日新任挨拶に來社

帝大勝つ 對立教二回戰 2―1

【東京國通】六大學野球リーグ戰帝大對立教二回戰は廿三日正午から神宮野球場で擧行結局二對一で帝大の復讐成る閉戰午後一時五十五分

▲スコアー

帝大	200000000	2
立教	000000010	1

龍鐵快勝 對電々野球 16―6

龍山(朝鮮)鐵路局對電々野球戰は二十三日午後三時から西公園球場において龍山先攻で開始、十六對六で龍山快勝した、閉戰五時十分

鄭氏の住宅 上棟式擧行

市內曙町二ノ一四合資會社和田工務所では豫て鄭前國務總理の住宅新築の設計施工を請負ひ工事中のところ二十五日午後二時半上棟式を擧行することゝなり各方面に招待狀を發した、場所は新京特別市至善路

池書伯洋畫展 (財政部裏電業社宅隣)

新京記念公會堂階上に於て池成烈氏近作洋畫個展を盛大に催す事となつた、日時は二十五、六日の二日間午前八時より午後十時、であるが晴天の時は更に二十七日迄延期する

長春兩級中學校 第二回運動會

新京西三道街財政部東に在る吉林省立長春兩級中學校では來る二十七日午前九時から第二回大運動會を擧行する、演技は建國體操から始まつて三十番、當日若し雨天ならば翌日に延期

鳥取縣人野遊會

鳥取縣人會では九月廿七日午前十時より大同公園內廣場にて秋季野遊親睦會を催すこととなつた、尙當日は婦人子供運動會福引其他盛り澤山な余興がある、通知洩れの方は蓬萊町一丁目德本商店電話(3)三四三二へ申込まれたいと

あす (廿五日)

▲淸潔檢査、南嶺、寬城子、窰門、農安各派出所管內 ▲敷島高女運動會、午前九時 ▲輸入百貨店開業 ▲秋季第三次競馬

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇 講演=相州葉山金子伯爵邸より中繼=伯爵金子堅太郎 ▲七・〇〇獨唱 ▲七・二〇自作朗讀「嘆きの都」中村武羅夫 ▲七・四〇舞台劇「城山月」西鄕隆盛外

天氣と氣溫

明日の天氣 南の風晴一時曇
日の出 前五時二八分
日の入 後五時三二分
月の出 後二時六分
月の入 後十一時三六分
けふの氣溫 最高二〇度八 最低五

モギレフスキー氏の演奏曲目決定
テノールの平野文壽氏も同伴
一日公會堂開催

東都樂壇の雄であり尚且我が樂界の恩人たる提琴巨匠モギレフスキー氏が、ピアノ伴奏者高木東六氏及びテノール歌手平間文壽氏を伴つて來演するとのニユースは、早くも國都好樂家間に歡聲を以て迎へられつゝあつたが、愈よ來る十月一日午後七時より記念公會堂に於て、其の大演奏會が催さるゝこととゝなつた、主催は基督教青年會、入場料一般二圓、會員券一圓五十錢である

アレキサンダー・モギレフスキー氏は、ロシアの產で七才にしてヴアイオリンを學び三年後には彼の異腹の兄でロストフ帝國音樂學校教授にして指揮者たるルウチンと共に數次の音樂會を開きデビユーして天才少年の名を全露に轟かした、其後歐米各都市を巡遊して巴里に於ては十三回のアンコールを受けたと云ふレコード保持者である、彼は日本へは十年以前に渡來し主として東京に於て或は演奏會に或は管絃樂指揮に或は室內樂の指導に各方面に涉つて彼自身の持つ技能と思想的蘊蓄を傾けて居る。特に彼の人格が高潔な點に於ては今日稀れに見る人である彼の愛弟子には有名な天才少女諏訪根自子孃がある

モギレフスキーはチヤイコウスキーに師事した關係上チヤイコウスキーの作品を最も得意とし就中其協奏曲は天下無比と迄巴里發刊するラ・レヴイウ・ムージカルは絶讚して居る、一行に加はつて來るピアノ伴奏家高木東六氏は新進のピアニストであり又作曲家として巴里仕込みの東都樂壇を賑はして居る斯道のエキスパートである。

テノール歌手平間文壽氏は既に滿洲には馴染多い人で然も旅順中學出身の滿洲兒であり伊太利に學び現今では東都樂壇ノの間に牛耳を取り最近日本演奏聯盟の主腦者として果又三浦環女史等とジヨイントして熾に東都樂壇に活躍して居る人（寫眞はモギレフスキー氏）

當演奏曲目は左の通りである

―第一部―

一、ヴアイオリンとピアノ合奏
　クロイツエルソナタ　ベートヴエン曲

二、テノール獨唱
　A　冷き手よ（歌劇ボエムより）ブツチーニ曲
　B　夢の如くに（歌劇マルタより）フロトウ曲

―第二部―

三、ピアノ獨奏
　ムーンライトソナタ　ベートウヴエン曲

四、コンチエルト
　メンデルスゾーン曲

―第三部―

五、テノール獨唱
　A　遙かなるサンタルチア　マーリオ曲
　B　オ、私の太陽よ　カプア曲
　C　からたちの花　山田耕作曲

六、ヴアイオリン獨奏
　A　G線上のアリア　バツハ曲
　B　ゴパツク（ウクライナ舞踏曲）　ムゾルグスキー曲
　C　スパニツシユダンス　モギレウスキー編曲
　D　ボルガ河の舟歌　クライスラー編曲
　　　デ・フアリア曲　クライスラー編曲

仙人掌

日本橋通り大上洋行隣りに近頃開業した日本橋茶房、開店匆々全新京の人氣をさらつて連日滿員々々を續けてゐるが▲そもこゝの石留支配人は故武藤金吉氏の義弟に當るチヤキ〳〵の江戸つ子▲店の設計からサービスガールの統制、さてはお料理の味に至るまで一應は自ら吟味するので▲特にお江戸日本橋辨當、フランスビフテキ、コーヒー、紅茶は好評を博してゐる▲國都新京らしい茶房として是非すく〳〵と發展させたいもの▲サロン春では女軍總動員、競場の入り口に押し掛けて來た競馬フアンたちに特製のマツチを配つた、直徑五分ほどの圓筒形をして一方の小穴から揚子みたいにして棒を出す他の底部がマツチを磨る藥品つけた部分になつてゐる、赤・青・白のあざやかな彩色で一寸凝つたものであつた

阪本龍馬

▽阪本龍馬△　松竹京都第二部・冬島泰三の右太プロ第二回作品として發表するオール・トーキーで、自身の脚色になるものである、市川右太衛門の主演の他に坂東橘之助、結城一朗、武井龍三、歌川絹枝、白河富士子等が出演、維新當時の血醒ぐさい京洛を背景に國士阪本龍馬の活躍を中心にお龍との戀愛交渉を配して描き出されるフアツシズム横溢の一篇、キヤメラは片岡淸の擔當、二十三日より長春座封切、寫眞は右太衛門と坂東橘之助

「君よ高らかに歌へ」と「阪本龍馬」の松竹一番線プロにパラマウント作品を配した編成松竹の寫眞もこゝら邊りになると安全感が深い▼オリムピツクニユースが斷然受けてゐる、觀てゐる裡に皆なが思はず拍手をする程に喜ばれてゐると、ニユースの評價もからなるの比ではなくなる▼そこで豐樂と新京キネマでは拔目なく廣告に中味を說明して出してあつたのであるが、何處よりも早く掲つただけに利き目はあつたと思ふ

雜音

豐樂、新京キネマの再映プロを除いて帝都、長春座ともに寫眞替り▼帝都キネマの「オペラは踊る」はマルクス兄弟の新作、例によつて特徴のあるフザケ方に期待が出來やう、「虛無僧系圖」の後篇と鈴木重吉の「雷鳴」を配した編成は惡いものではないが、マルクスが餘り賣れてゐないのが難である▼長春座は

九星

九月廿五日　舊八月十日　金曜　己酉　佛滅　建　斗宿

●一白の人　甘き思案も浮かばず氣迷ひに終日を過す日巳と辛と癸が吉
●二黑の人　器用に任せ餘分な小策をすれば失敗すべし乙と未と壬が吉
●三碧の人　他日に延引する仕事には取掛らぬがよろし巳と庚と辛が吉
●四綠の人　理想通りに運ばぬ日目上に謀り獨斷を戒む乙と巽と已が吉
●五黃の人　工風才覺は失策の恐れあり自重するが安全甲と申と癸が吉
●六白の人　不熟心なるは上達容易ならず精勵すれば吉己と丁と申が吉
●七赤の人　小を積みて大となり近きより遠きに及ぶ己丙と未と申が吉
●八白の人　辛勞甲斐の生ずる日勤王普請は差控ゆべし乙と丁と申が吉
●九紫の人　曇天に晴れ間を見る如き日追々良好となる庚と丑と寅が吉

滿鐵重役會議にて 滿炭の增資承認

增產後の內地輸出は今後の問題

【大連國通】廿二日の滿鐵重役會議は滿洲石炭增産委員の五ヶ年後に於る年產一千萬瓲案を審議した結果、大體これに同意を與へ炭業統制委員會に報告することゝなつた、從つて滿鐵としては滿洲炭鑛會社の八千萬圓增資（現在一千六百萬圓）を承認した譯で年內に認可を受け滿鐵、滿洲國各々四分の一拂込を行ふ事となつたが、滿炭の內地輸出を一千萬瓲增產後如何なる程度で爲すかは石炭聯合會との折衝が今後の問題として殘されてゐる

二年度に決定せる事業計畫を踏襲して積極的に活躍する事となり期待されてゐる

外油會社貯油問題 圓滿に解決す

委任會社を設立實行へ

【東京國通】石油業法によるスタンダード、ライジング・サン兩外油會社の貯油義務履行問題は去る六月外油二社が原則的に之を認め、爾來その履行方法に就て三井物產會社との間に折衝が進められた結果、此程漸く兩者間に正式調印を見るに至つたので小川商相は廿二日の閣議に之を報告した

發表した斯く約二ヶ年に亘り紛糾を續けてゐた外油會社の貯油義務履行問題は圓滿解決を告げ、近く外油會社はその所有する土地を、三井物產から二千五百萬圓を夫々出資して委任會社を設けタンクの建設其他貯油に關する準備を整へた上、實行に移る事になつた

東興鎭電報局設置

電々會社では今回間島省琿春縣東興鎭東安街に東興鎭電報局を設置し、十月一日より滿洲內和漢歐文及び日滿和歐文並びに國際電報を取扱ふことゝなつた、また同社では二十一日より農安電報電話局を吉林省農安縣安城內南大街路西に移轉した

日本漁船の進出に カナダで悲鳴

―沖取は全く領海外の事―

【オツタワ廿一日發國通】カナダ政廳は極端な移民制限策に依り日本人漁夫の入國を制限しカナダ人の漁業を保護して居るが、最近日本漁船がブリテイツシユ・コロムビア州近海に進出し鮭工船に依り沖取漁業に從事して居る結果、カナダ漁業界は再び悲鳴を擧げカナダ政廳の善處方を要望するに至つた、右に就きカナダ政廳もカナダ漁民の死活問題として重視して居るが、日本漁業船はブリテイツシユ・コロムビア州沖三浬の領海外の事なので、日、米、カナダ三國間の外交々渉に依る以外解決策はあるまいとの意向といはれる

百圓、調査及旅費二千圓、事務費七千六百圓、會議費五百圓、接待費六百圓、雜費六百圓、退職給與金一千圓、徵納總部金二千六百四十圓、予備費八百三十圓を可決されたが同支部は康德三年度は五月に大連から新京に移轉のため約三千圓の臨時支出ありその事業計畫も多少手控へするの止むなきに至つたが、四年度は常態に復したるを以つて康德

日滿實業協會 四年度豫算

日滿實業協會滿洲支部康德四年度豫算はさる十五日の總會で收入合計二萬九千四百七十圓、支出內譯給與一萬三千七

支那向け貨物 割增料引上ぐ

水曜會緊急協議會で決定

【東京國通】損害保險水曜會では廿二日緊急協議會を開き支那向け貨物の保險割增料引上げ問題につき協議の結果次の如く大幅引上げを行ふことになり、來る廿四日邦船出發よりこれを行ふことに決定した

一、上海向け貨物　海上のみ一錢　陸上倉庫混み五錢

一、長江筋（上海を除く）　海上のみ五錢　陸上倉庫混み十錢

一、其他長江以下（但し上海、厦門、香港を除く）　海上のみ一錢五厘　陸上倉庫混み十錢

滿洲國の石油問題と 撫順製油事業の國家的意義（三）

（本稿は筆者の都合により掲載中斷されたが、本月四日の四面より續くものである）

二　滿洲國石油專賣制の目的と其の機能

前述の如き世界石油界の微妙な動きの中に孤々の聲をあげた滿洲國石油專賣法は當時列國の國際的神經を刺戟し一時國際聯盟の議題として異常なる波瀾を卷き起したことは未だ世人の記憶に新たなところである、此の石油專賣法は世界唯一の石油專賣國西班牙の制度を參考として制定せられたものゝ樣で前述の國家管理主義に屬する譯である、其の骨子は飽迄も既存營業者の利益を認め國籍の如何をとはず均等の待遇を與へ石油の國內製造及資源開發の保護助長價格の公正、供給の適正等を期さんとしたものであつて其の立法の精神並に目的は政府の聲明したる發布理由書によつて容易に首肯することが出來る依つて理由書の要點を擧げて說明に代へることゝしやう

「石油は國民生活の必要品たると共に國家の興隆を左右する所以なれば諸列强は皆競つて適正妥當なる石油國策の樹立に腐心するの現況にあるは蓋し當然の事とす可し、翻つて滿洲國の現況を見るに從來は石油に對し何等の國策あるなく全く自然の儘に放置し顧るところなかりき即ち先づ石油資源開發の業は捨てゝ顧られず油田の發見せられたるもの一としてなく僅かに撫順炭礦の副產物たるシエルオイルを產するに止まり需要量は擧げてこれを海外に仰ぎつゝあると共に此の需給關係に對し何等の適正する對策を講ずる處なく國民生活の安定更に文化の發展上にも障碍尠からざる現狀なり、玆に於て政府は石油の國內製造及資源開發に對しては種々保護助長の方策を講じ國家百年の計を樹立すると共に他方石油の專賣を實施し先づ供給方面に對し適正なる國家統制を加へ其の價格に對しても漸次現在の狀態を改正し以つて國民生活の安定文化の發展を庶幾するの外種々石油國策實施の手段とするを最も適當と認めたり而して石油專賣實施に伴ひ既存營業者の蒙る損失に對しては政府に於て適當に補償せんとす云々」と述べてゐる、次に此の石油專賣法と滿洲石油會社との相互機能關係に就て一言說明を加へることゝする、即ち專賣法全文二十條に規制するところの要點は

一、政府專賣と專賣品目

石油は政府の專賣とし其の專賣品目の範圍は揮發油、燈油、輕油、重油、ベンゾール並に勅令により別途制定さる可き代用燃料油の六種とし機械油は現在のところ本法の規則より除外されてゐる

二、專賣品の輸出入並に製造許可制

石油類及鑛物性の輸出入並製造には政府の許可が必要である、又許可をうけて製造又は輸入した石油は政府に於て全て買ひ上げることゝなつてゐる、之は供給の全部を政府の手に依つて統制せんとする建前上當然のことである

三、販賣制度

石油類の賣捌は全國を十ケ所の販賣區に分ち各區に專賣官署を置いて其の下に政府の指定した元卸賣人を設けてゐる、更に其の下に相當數の卸賣人を設けて一般小賣業者又は消費者に販賣する仕組みとなつてゐる、之等の元卸賣人及卸賣人は政府の補助的販賣機關の役割を果すものである、なほ特殊の大口需要者に對しては卸賣人を通ぜず元卸賣人又は政府自ら之を賣下ぐることを得る旨を定めてゐる

土建ニュース

●大連工事々務所

▲消費組合日の出町分配所倉庫窓取設其他工事　隨特　九十二圓廿七錢　宅間組

▲霞町一一北一社宅外二戸水性のペンキ塗替工事　隨特　八百二十五圓　小松組

▲眞金町二一一社宅外窓及入口木部ペンキ塗替工事　隨特　六百五十六圓　兒島塗

▲金州驛前廣場修繕工事　隨特　四百三十四圓　木村組

▲中央試驗所沙河口研作機械基礎取設工事　隨特　二百六十四圓　村

▲回春街丙種社宅炊事其他工事　落札　九百八十圓　梅

▲霞町舊丁六、四、五北戸を二〇戸に增改築　落札　一萬一千四百　長谷川

▲中試沙研燃料試驗室煖房增　一五、八五〇、〇〇 長谷川工務所　一九、四〇〇、〇〇 伊賀原組　一九、八〇〇、〇〇 池內市川組 辻組

▲台附近法面防護工事　單獨　九千四百二十圓　草場組

▲三裸樹工廠屋外高架起重機基礎新設工事　單獨　一萬四千圓　福昌公司

▲海倫局宅街下水管布設工事　落札　六千九百八十圓

▲北安獨身局宅增築工事　落札　一萬六千六百三十圓　西本組

▲海倫日本人小學校新築工事　落札　一萬二千四百八十圓　井上組

▲敦化局宅給水施設替工事　落札　二千百二圓九十六錢　長谷川工務所

▲土們嶺站給水柱排水管布設工事　落札　九百八十圓　松浦組

●鐵道事務所

▲各驛待避施設の內遼陽驛構內聯動裝置改築工事　特命　三十五圓十錢　中村塗裝店

▲大連檢車區客車收容線給汽罐增設工事　特命　八百九十四圓十四錢　橋本商會

●滿鐵地方部

▲奉天第二中學校增築工事

▲安東脈園町附近下水管布設工事　右二件共　二十五日開札

●大連都市交通會社

▲日本橋車庫煖房給排水其他工事　開札　二十四日

●大連市役所

▲下萩町市營住宅新築工事　二十八日　公入札

長春酒

國家歲計の膨脹と東亞ブロック政策の實行に伴ふ產業界の好況とが現在の景氣動向に大きく影響してゐる▲廣義國防の建設といふ方向に進んでゐる日本の現在である、歲出の膨脹、ブ

商況欄（九月二十四日前場）

海外經濟電報

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙二四
十月限	一一仙八四
十二月限	一一仙八五
一月限	一一仙八七
三月限	一一仙八六

▲印棉

限月	相場
五月限	一一仙八二
七月限	一一仙七八

ブローチ　二一六留比

オームラ　一九二留比

ベンゴール　一五三留比

▲市俄古小麥

限月	相場
九月限	一弗一六仙八分三
十二月限	一弗一五仙二分一
五月限	一弗一四仙四分一

▲カルカッタ麻袋

限月	相場
青筋	二二留比六分一
鐵筋	一九留比六分七

品目	相場
倫敦銀塊	一九片一六分七
同先限	一九片一六分七
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	四八留比四分一
米英爲替	五弗〇八仙八分七
米日爲替	二九弗六三仙
米支爲替	三〇弗二三仙
スチール株	七一弗二分一
アナコンダ	三九弗八分三
英日爲替	一志二片〇分三
英支爲替	一志二片三分二
印日爲替	七七留比二分一

新栗 甘栗太郎 新京銀座 電三・二八八七

金銀市況

●上海標金　本寄　一一三、四〇

●大連金鈔票　現物　九九、九五

寄付　一〇〇、〇〇
引
出來高

●九月廿八日限　寄付　一〇〇、〇〇　十月十三日限　出來不申

●大連鈔票銀大洋　現物　五萬　出來高

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向　第一回賣買　一〇〇、七五　第二回賣買　一〇〇、七五

▲倫敦向　第一回賣買　一志二片一六分五

▲紐育向　第一回賣買　三〇弗一八分三

▲大連爲替

▲上海向　一〇一、八五　一〇一、八五

▲天津向　一〇一、七五

▲靑島向　八萬二千

▲阪神日米爲替　第一回賣買　二九弗八分五

▲阪神日英爲替　第一回賣買　三〇弗六分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

▲大阪株式（短期）

▲大連株式（短期）

▲奉天株式（短期）

各地商品市況

▲大阪棉糸

▲大阪棉花

▲大阪人絹

各地特產市況

●大連大豆

●同豆粕

●同豆油

●同高粱

新京取引所市況

（九月二十四日前場）（一石値段）

現物　大豆、高粱、小豆、玉蜀黍